



校長室より



令和5年 9月 1日

No.10

2学期がスタートしました。

今年は、4年ぶりにコロナ感染の行動制限のない夏休みとなりましたが、猛暑日が続き「熱中症警戒アラート」が連日出され危険な日が続きました。それでも、大きな事故も無く、2学期を迎えることができたことをうれしく思います。

夏休み前に、児童生徒たちに目標をもって過ごしてほしいと話をしていましたが、高等部3年の生徒で、大学のオープンキャンパスに参加したり、運転免許の取得に教習所に通い始めたり、将来を考えて着実に歩みを進めていたという報告が入ってきています。まだまだこの夏に努力したことや成果の報告が続くものと思っています。自分の立てた目標を少しでも前に進められるように、焦らずコツコツと頑張してほしいです。

9月といえども残暑の厳しい日が続きそうですが、朝夕吹く風には秋の気配を少し感じられるようになってきました。

秋は、「学問の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」など、何をするにも良い季節であることは間違いありません。2学期には、修学旅行や文化祭といった大きな行事も予定されています。ワクワクしますね。

始業式の挨拶の中で、9月1日は「防災の日」であり、今年が関東大震災から100年に当たること、ハワイの山火事など異常気象は地球温暖化が影響していること、いつ災害に遭遇するかわからないことから、「自分の命は自分で守る」「命を大切にする」「自らの力でしっかり考え行動できる」人になってほしいという話をしました。2学期には、火災避難訓練や地域との合同避難訓練が予定されています。しっかり備えをしていきたいと思います。

和歌山病院に入院している一学部の児童生徒たちも、病院から許可が出た人から本校に通学して学習ができるようになりました。コロナ禍の3年半の間、往来が完全にストップされていたので、画期的な一歩になります。入院性も通学生も「一つのみはま」として、活動が展開できていくことを願っています。

